

体験学習をする上での心得

(基本的に必要とされるマナー等)

1 基本的なルールの厳守

- (1) 体験学習中に知り得た施設利用者のプライバシーに関わる情報は絶対口外しない。施設から個人情報保護のために「誓約書」の提出を求められた場合は、大学を通して提出する。
- (2) 体験学習中は、施設の方針と指示に従う。
- (3) 時間を厳守し、遅刻や早退をする場合は、事前に施設担当者へ連絡する。
- (4) あいさつは、自分から進んで明るく元気にする。
- (5) 職場の雰囲気乱さないように、明るい態度で体験に取り組む。
- (6) 体験学習中は、学生同士での私語は控える。
- (7) 自分に与えられた仕事には責任を持ち、積極的に取り組む。
- (8) 担当部署は、無断で離れないようにする。
- (9) 批判的な態度は慎み、前向きな取り組み方をする。
- (10) 備品、貸与物等を使用する場合は、丁寧に扱い、後始末はきちんと行う。
- (11) 感染防止の観点も含めて、体験期間中または直前に体調を崩したときは、受入れ施設及び大学に連絡し、担当者の指示を受け、無理をしないようにする。
- (12) 施設内での写真撮影や録音は、施設の許可なく行わない。また、体験中に知り得た情報を SNS 等に投稿しない。

2 施設職員との関係

- (1) 礼儀をわきまえ、謙虚な姿勢で職員の指示に従う。
- (2) 服装や態度で注意、指導を受けた場合は素直に従う。
- (3) 指示を受けた仕事は、的確にやり遂げ、その結果を必ず報告する。
- (4) 体験時間中に手が空いた場合は、施設担当者に次の仕事を遠慮なく尋ねる。
- (5) 自信のないことや心配なこと、判断に迷うことは、進んで質問や相談をする。

3 施設を利用している高齢者や障がい者、児童に対して

- (1) 言葉遣いや態度等に注意をする。
- (2) 公平に接し、偏った扱いをしない。
- (3) 軽々しい約束などはしない。

4 服装、身だしなみについて

- (1) スーツ、または施設で指定された服装で参加する。屋外で活動する場合もあるため、外で履く靴も活動しやすいものを心掛ける。
- (2) 香水やタバコにおいては、施設利用者に不快な思いをさせることがあるため、十分注意する。
- (3) 髪が長い場合は必ず束ねる。
- (4) ヘアカラー等を禁止している施設があるため、事前に確認しておく。
- (5) アクセサリー等は、体験中は身に付けない。
- (6) 爪は短く切りそろえ、ネイルカラーは控える。

5 その他

- (1) 貴重品や不必要なものは持っていかない。
- (2) 体験学習中は、外出・面会等は控える。
- (3) 携帯電話は、電源を切るかマナーモードに設定する。
- (4) 昼食は、施設で準備していただける場合（実費が必要）もあるので、事前に施設に問い合わせ確認しておく。
- (5) 自家用車での通所及び駐車について、必ず事前に施設に問い合わせ許可を得る。
- (6) 施設内では喫煙をしない。

以上、基本的マナーを示しましたが、受入れ施設の事前オリエンテーション等において、さらに細かい注意事項や、上記とは異なる指示がある場合があります。その場合は、必ず施設の指示に従って行動してください。

担当者の指示や施設のルールを順守できない場合は、施設の判断により体験中止となる場合があります。